とよはしエコマネジメントシステム (TーÉMS) について

「豊橋市エコアクションプラン」に掲げた温室効果ガスの排出量、また取組目標達成のため、 豊橋市ではとよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)により進捗管理を行っています。

平成29年度は目的および目標を以下表1のとおり掲げて環境負荷の低減に努めました。

表 1 平成 29 年度の目的および目標

環境目的	目標		
1. 地球温暖化防止対策を推進する	①二酸化炭素排出量を平成 28 年度比 1%以上削減する		
で推定する	②エコ通勤の実施日数を平成 28 年度比 1%以上増加する		
2. 省資源、グリーン購入 を推進する	①水道使用量を平成 28 年度比 1%以上削減する		
で推進する	②用紙類購入量を平成 28 年度比 1%以上削減する		
	③グリーン商品の購入率を平成 28 年度比 1 ポイント以上増加する		
3. 廃棄物の減量・用紙リ サイクルを推進する	①廃棄物量を平成 28 年度比 1%以上削減する		
リイグルを推進する	②用紙リサイクル率を平成 28 年度比 1 ポイント以上増加する		
4. 環境に配慮した公共工 事を推進する	①建設副産物の発生抑制、リサイクル、適正処理を推進する		

また平成29年度の実績については次ページの表2のとおりとなっています。

二酸化炭素排出量に関して大幅な達成となりました。これは、バイオマス利活用センターの稼働が大きな要因となっています。中島処理場から排出される下水汚泥と資源化センターで処理をしていた生ごみ、し尿・浄化槽汚泥を集約処理することで燃料の使用量が減少しました。

グリーン購入率は目標を達成しましたが、その他の項目は未達となっています。水道使用量は 漏水、用紙購入量は制度改正の対応等が要因として挙げられます。

今後も、環境負荷低減のため、職員一丸となって引き続き取り組みを進めてまいります。

表2 とよはしエコマネジメントシステム (T-EMS) 平成29年度 実績

	衣と とよはしエコ	マネングントンス)と		H29 年度		評価			
項目		年間目標	H28 年度 実績値	実績値 (計画値)	H29 実績値 からの増減				
1.	1. 地球温暖化防止対策を推進する								
二酸化炭素排出量 (t-CO₂)		平成 28 年度比 1%以上削減	51, 907	42, 394 (50, 880)	▲ 9, 513 (▲ 18. 3%)				
		電気**	31, 426	30, 470 (30, 699)	▲ 956 (▲ 3.0%)				
		都市ガス	10, 400	7, 125 (10, 214)	▲3, 276 (▲31. 5%)				
		灯油	8, 363	2, 937 (8, 273)	▲ 5, 426 (▲ 64. 9%)	達成			
		液化石油ガス	200	198 (192)	▲ 2 (▲ 1.1%)				
		A重油	86	20 (86)	67 (▲ 77. 3%)				
		ガソリン、軽油、天然ガス	1, 432	1, 645 (1, 417)	213 (14. 9%)				
	エコ通勤実施日数	平成 28 年度比 1%以上増加	251,392	258,023 (253,906)	6,640 (2.6%)	達成			
2	2. 省資源、グリーン購入を推進する								
	水道使用量(m³)	平成 28 年度比 1%以上削減	729,263	734,438 (720,144)	5,175 (0.7%)	未達成			
	用紙類購入量(枚)	平成 28 年度比 1%以上削減	72,779,373	72,701,127 (72,013,653)	▲ 78,246 (▲ 0.1%)	未達成			
	グリーン購入率(%)	平成 28 年度比 1 ポイント以上増加 若しくは 90%以上維持	量 97.2 金額 93.6	量 90.2 (98.2) 金額 91.8 (94.6)	-	達成			
3.	3. 廃棄物の減量、用紙リサイクルを推進する								
	廃棄物量(kg)	平成 28 年度比 1%以上削減	473,218	477,705 (468,486)	4,487 (0.9%)	未達成			
	用紙リサイクル率(%)	平成 28 年度比 1 ポイント以上増加 若しくは 80%以上維持	32.6	29.7	-2.9P	未達成			

[※]電気の二酸化炭素排出量については、排出係数をそれぞれ平成28年度実績値は平成28年12月発表のもの、 平成29年度実績値は平成29年12月公表の数値を用いて算出しています。